

小学校第五学年 国語 「役割に沿って話し合おう」

○ 正答例

一 (1) 4

(2) A あいさつをどう教えるか

二 ア ほめる

イ 相手より先に

○ この問題で身につけてほしい力

- ① 学級会での司会の役割や立場をつかむ力
- ② 文章や話し合いから必要な内容を選び出す力

○ 考え方

一 (1)

学級会などの司会の役割には、大まかに次のものがあります。

- ・話し合いを進めること
- ・話し合いの流れを知らせること
- ・話題からそれた発言を元に戻すこと
- ・どこで話して話しの内容を整理すること
- ・発言内容を聞き手に分かりやすくするために問い返すこと
- ・話し合いの結果をまとめること

ここでは、司会が次のように発言しています。

今日は、話し合いを四つに分けます。まず、あいさつのお手本について。次に、あいさつをどう教えるか。その次に…

これは「話し合いの流れを知らせること」ですね。

熊谷さんが話したように、お手本として具体的にどのようなあいさつをするのか、…

これは「話し合いを進めること」です。

では、五年生はこの三点に気をつけて、あいさつのお手本を示すことをめざしていきます。これでよい、という人は、手をあげて…

一 (続き)

これは「どこで話して話し合いの内容を整理すること」に当たります。さらに、手をあげてもらったことで、全体に確認もしていますね。

1から4までのうち、**【話し合いの様子】**で司会が果たしている役割は、1、2、3です。今回は**4**の場面が見られません。ですから、答えは**4**です。

(2) 遠山さんの提案のあと、司会が話し合いの流れを次のように知らせています。

今日は、話し合いを四つに分けます。まず、あいさつのお手本について。次に、あいさつをどう教えるか。その次に…

「次に、あいさつをどう教えるか。」と書いてありますね。話し合いがまとまったのは「あいさつのお手本について」ですから、答えは「あいさつをどう教えるか」です。

二

アは、**【提案文】**に注目すると、とらえやすくなります。**【提案文】**は次のような構成になっています。

- 1 提案の内容
- 2 具体的な取り組み①(まず)
- 3 具体的な取り組み②(次に)
- 4 具体的な取り組み③(最後に)
- 5 提案の内容

また、問題では、次のように問われています

- ① あいさつのお手本を示す(「まず」の部分)
- ② 下級生にあいさつを教える(「次に」の部分)
- ③ 下級生のあいさつを A (「最後に」の部分)

**【提案文】**には「最後に、あいさつをした下級生をほめます」と示されています。ですから、ここでは「ほめる」と書くのがよいでしょう。

イは、**【話し合いの様子】**に注目すると、とらえやすくなります。

**【話し合いの様子】**では、司会の言葉を受けて、上柿さん、斉藤さん、吉田さんの三人が意見を話しています。また、発言を司会は次のようにまとめていきますね。

五年二組のあいさつは、黒板にある三点に具体的なお手本にしています。

ですから、ここでは、先ほどの三人の発言をもとに整理すればよいのです。ちなみに、問題にある①は上柿さん、②は斉藤さん、③は吉田さんです。

吉田さんは「相手より先にあいさつするように気をつけたい」と発言しましたから、ここでは「相手より先に」と答えるのがよいでしょう。